



あおもり国スポ冬季大会まで1週間

県勢 士気高める

冬季、夏季の完全開催となる第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」は、31日開幕の冬季大会スケート・アイスホッケー競技会まで1週間となった。2月8日までの9日間、八戸市と三沢市を舞台に4競技を実施予定。完全開催は1977年に青森県内で開かれた「あすなる国体」以来49年ぶり、先陣を切る県勢選手は本番にピークを合わせようと士気を高める。

【9ページに特集】

スピードスケートとフィギュアスケートは八戸市、ショートトラックは三沢市、アイスホッケーは八戸、三沢両市を会場に実施。監督、役員を含め青森県選手団は104人が参加し、全国の精鋭を迎え撃つ。

スピードスケートの会場となるYSアリーナ八戸では23日、中学生や大学生、社会人の選手が練習。本番を想定しながら、コーナーへの入り方やフォーム、ペース配分などを念入りに確認した。

成年女子3000円に出場する八学大の木村咲映さん(22)は「今季はタイムも安定しているので、国スポまでにもっといい状態に仕上げていく」と意気込んだ。

(小嶋嘉文)